



※本リリースは2010年12月16日メルボルンで発表されたリリースを基に作成しています。

報道関係各位

2010年12月22日
ジェットスター航空

ジェットスター航空、アジアの長距離路線網を拡大 メルボルン－シンガポール線のデイリー運航を開始

オーストラリアのローコストキャリアであるジェットスター航空は、2010年12月16日より、初めてのシンガポール発長距離路線となるメルボルン－シンガポール線のデイリー運航を、A330-200型機により開始しました。このシンガポールをハブとする長距離路線就航は、アジア全域のネットワーク発展を図るジェットスターの取り組みの第一弾となるものです。

この新たなアジア路線のために2クラス制のA330型機材を拡充し、メルボルンからシンガポール、さらにはアジア域内の22の就航都市を結ぶ低価格運賃の直行便を運航します。

メルボルン－シンガポール線は、ウェブサイト(Jetstar.com)からご予約いただいた場合の片道最低運賃が349豪ドルとなっており、他社の最低運賃と比べて30%安い価格でご利用いただけます。

ジェットスターのチーフ・コマーシャル・オフィサーであるデヴィッド・コズカー(David Koczkar)は、待望のシンガポール発の長距離路線就航により、ジェットスターはアジア事業の規模をさらに拡大し、カンタス航空などの業務提携により、アジアの主要ハブとなるシンガポールにおいて一層の旅客数増加を達成できるだろうと述べています。

コズカーはまた、次のように述べています。「ジェットスターは、アジアという急速な成長を続ける世界最大の航空市場におけるプレゼンスを確立し、力強い成長を続けています。ローコストキャリアとして世界で初めて長距離路線に参入し成功を収めている当社は、アジア全域を結ぶネットワーク構想のもと、シンガポール・チャンギ空港をアジアのハブとしてA330型機による定期運航を行うことにより、その成長を加速していきたいと考えています。この重要なメルボルン－シンガポール線の開設により、ジェットスターの拠点であるオーストラリアとシンガポールがダイレクトに結ばれ、シンガポールハブを経由して中国、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンなどのアジア各地の目的地を縦横に結ぶ路線網が実現します。」

ジェットスターの長距離路線に使用されているA330-200型機は、ジェットスターの国際線ビジネスクラスであるスタークラスを含む2クラス制で運航され、オーストラリアとバリ、東京、大阪、ホノルル、バンコク、プーケットなどのアジアおよびアジア太平洋地域を結ぶ直行便にも使用されています。

メルボルン－シンガポール線は、カンタス航空とのコードシェア便の運航も予定されています。

ジェットスターでは、シンガポール線を含むメルボルン発の3つの国際線を先週より運航しています。

- メルボルン－シンガポール 12/16 からデイリー運航 (A330)
- メルボルン－クイーンズタウン (NZ) 12/16 から週2日運航 (A320)
- メルボルン－オークランド(NZ) 12/13 からデイリー運航 (A320)

メルボルン－シンガポール線スケジュール (12/16からデイリー運航)

メルボルン－シンガポール	シンガポール－メルボルン
JQ 7 12.00 – 16.50	JQ 8 20.50 – 06.55 (+1)

メルボルン－クイーンズタウン線スケジュール (12/16から木曜、日曜に運航)

メルボルン－クイーンズタウン	クイーンズタウン－メルボルン
JQ219 08.55 – 14.00	JQ220 09.50 – 11.15

メルボルンーオークランド線スケジュール (12/13からデイリー運航)

メルボルンーオークランド

JQ211 09.55 – 15.15 (火, 水, 土)

JQ213 11.55 – 17.15 (木, 日)

JQ215 23.40 – 05.00 (月, 金)

オークランドーメルボルン

JQ210 06.20 – 08.15 (木, 日)

JQ210 07.20 – 09.15 (火, 水, 土)

JQ214 21.00 – 22.55 (月, 金)

片道航空運賃

メルボルンーシンガポール 349豪ドル～

メルボルンークイズタウン 199豪ドル～

メルボルンーオークランド 169豪ドル～